

令和 7 年 度

事業 計 画 書



社会福祉法人 聖風会

社会福祉法人の定義

社会福祉法人聖風会は、社会福祉法人とは、以下のような存在でなければならないと考えています。

- 一、社会福祉法人は、質の高いサービスの提供と、その担い手である人材の育成を行い続けなければならない。
- 一、社会福祉法人は、事業継続のために必要な収益を確保しながらも、非営利の姿勢を貫かなければならない。
- 一、社会福祉法人は、地域の中の存在として、常に地域との連携を図り、地域住民の生活を支援しなければならない。
- 一、社会福祉法人は、制度の有無にかかわらず、すべての社会的弱者を積極的に受け入れ、手を差しのべ、社会に安心を提供しなければならない。

法 人 理 念

最高に価値あるものをすべての人に
～地域に信頼される施設を目指して～

経 営 理 念

< 私たちが目標とすること >

- ☆地域に貢献する総合福祉事業の展開
- ☆卓越したケアサービスによる顧客満足
- ☆効果・効率を考えた弛まぬ業務改善

運 営 理 念

< 私たちが大切にしていること >

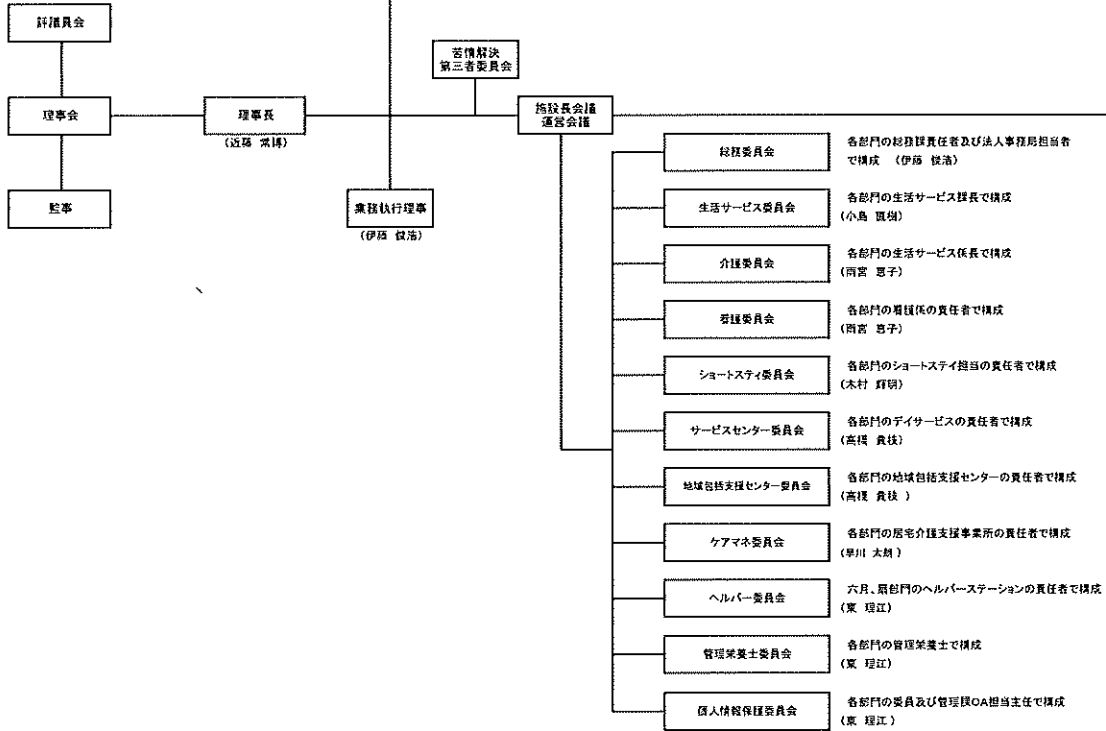
- ☆相手の立場で見る・聴く・考える
- ☆相手の笑顔・自分の笑顔
- ☆その人がその人らしく生きること

目 次

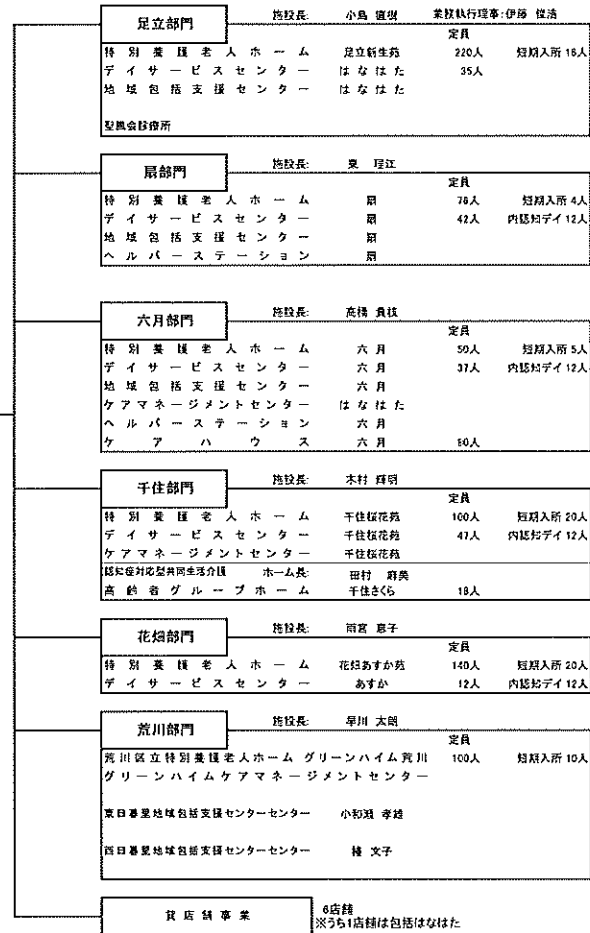
法	人	本	部	・	・	・	・	・	02			
職	種	別	横	断	委	員	会	・	・	・	・	06
足		立			部		門	・	・	・	・	18
扇			部				門	・	・	・	・	24
六		月			部		門	・	・	・	・	32
千		住			部		門	・	・	・	・	42
花		畑			部		門	・	・	・	・	50
荒		川			部		門	・	・	・	・	57

社会福祉法人 聖風会 組織図

事業種別	事業数	利用定員
特養	6	685人
短期入所	6	75人
通所介護	4	125人
認知症対応型通所介護	4	48人
認知症対応型共同生活介護	1	18人
ケアハウス	1	80人
居宅介護支援	3	
訪問介護	2	
地域包括支援センター	5	



※サービス管理は、各課所委員会や施設長会議で行う



【本部事務局】

《人事 財務 会計管理》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	グローバル職員採用について、支援留学生と特定技能実習生の受入れを各施設のニーズに合わせ採用を進める。	・新たな支援留学生2名程度の受入れを行う。特定技能実習生については、各施設を窓口としながら、その支援を行う。		
②	日本人職員採用について、専門学校、大学の訪問を前期を中心に行う。	・実習受入れ実績校や、介護福祉士養成校のみならず、相談援助職である社会福祉士養成校への訪問を実施。		
③	留学生の支援について、学費負担方法の見直しを行う。	・支援留学生の人数が増加していることから、法人、採用各施設による学費負担の方法について検討する。		

《部門特記事項》

《施設 サービス 管理》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	支援業務の DX 化推進の一環として、生成 AI ツールの選定と活用を検討	・現状分析を行い、職員の IT スキルレベルを調査し、生成 AI ツールを選定し規定の整備と職員研修を行う。		
②	情報セキュリティポリシーの策定	・完成した情報セキュリティポリシー本体に関連する諸規定類の整備を行う。		
③	計画的な建物の予防保全（継続）	・ライフサイクルコストを加味し、対応年数を考慮した予防保全を計画的に行う。		
④				

令和7年度

《年間予算表》 法人本部

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
他の社会福祉事業(法人本部)			95,907,000			0.0%				0.0%	****		0
収入合計(1)			95,907,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			16,495,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			86,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			40,215,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	****	0	0		****	****		0
支払利息支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の支出			204,000			0.0%		0		0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****	0	0		****	****		0
固定資産取得支出			250,000			0.0%	0	0		0.0%	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			288,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
長期貸付金支出			17,540,000			0.0%		0		0.0%	****		0
積立資産支出			17,312,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の活動による支出			410,000		0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
支出合計(2)			92,800,000		0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			3,107,000		0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
前期末支払資金残高			216,097,760										
当期末支払資金残高			219,204,760										

《特記事項》

- ※ 長期貸付金支出17,540,000円のうち、
- ・法人支援留学生へ修学資金・生活資金の長期貸付金計上8,540,000円
 - ・千住拠点へ拠点区分間長期貸付金計上9,000,000円（ナースコール更新工事（1フロア））

令和7年度

《年間予算表》 貸店舗

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
貸店舗		店舗6	15,958,000			0.0%				0.0%	*****		0
収入合計(1)			15,958,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			3,500,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			0			*****	0			*****	*****		0
事務費支出			1,534,000			0.0%				0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
支払利息支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の支出			1,086,000		0	0.0%	0	0		0.0%	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
固定資産取得支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			45,000			0.0%				0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
積立資産支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			9,500,000			0.0%				0.0%	*****		0
拠点区分間繰入金支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の活動による支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
支出合計(2)			15,665,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			293,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
前期末支払資金残高			2,965,570										
当期末支払資金残高			3,258,570										

《特記事項》

※

※

【令和7年 職種別を中心とする横断委員会】

情報交換の場で終わることのないよう、委員会毎の事業計画に基づいた運営を行う。

	名 称	責任者	開催日	時 間
1	総務委員会	伊藤俊浩	第4金曜日/月	15:30~18:00
2	生活サービス委員会	小島直樹	第2火曜日/毎月	15:00~18:00
2-1	・介護委員会	雨宮恵子	第2水曜日/毎月	16:00~18:00
2-2	・看護委員会	雨宮恵子	第3月曜日/年4回(5月/8月/11月/2月開催)	16:00~18:00
2-3	・ショートステイ委員会	木村輝明	第3月曜日/年2回(4月/10月開催)	10:00~12:00
3	サービスセンター委員会	高橋貴枝	第3金曜日/月	16:00~18:00
4	地域包括支援センター委員会	高橋貴枝	第1金曜日/年4回(6月/9月/12月/3月開催)	9:30~12:00
5	ケアマネジャー委員会	早川太朗	第1金曜日/年4回(5月/8月/11月/2月開催)	16:00~18:00
6	ヘルパー委員会	東理江	第4月曜日/偶数月	10:00~12:00
7	管理栄養士委員会	東理江	第4水曜日/年4回(5月/8月/11月/2月開催)	9:30~12:00
8	個人情報保護委員会	東理江	第3木曜日/偶数月	16:30~18:00

【職種別横断委員会】

《総務委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	昨年度に引き続き、物価高騰対策の補助金について、施設長会議と情報を共有し、遅延や洩れなく手続きを行う。	・東京都、各区からの補助金に関する情報収集を行い、施設長会議内で申請手続き等について確認、適正な申請を行う。		
②	グローバル新人職員について、法人統一マニュアルに沿った支援を行う。	・昨年運用を開始したマニュアルに沿った支援を行い、より運用しやすいものになるよう、課題などを施設長会議に提案する。		
③	基幹業務更新について、他委員会からの依頼に基づき、課題を検討する。	・DX導入について、設備環境の変更やソフト選定等について、総務課として担うべき課題を整理し、導入に向けDX担当者と協働する。		
④				

【職種別横断委員会】

《生活サービス委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法令遵守、また、法人内サービスの質を管理し、支援技術の統一化、標準化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年法改正の内容を踏まえ、各種指針管理と内部監査の実施。 ・各種加算の安定的算定とLIFEのフィードバック情報の有効活用。 		
②	福祉人材となる学生に対する学びの機会として、実習受入れを継続する。また、実習以外の方法にて養成校との連携強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防護を図りながら、実りのある実習プログラムを提供する。 ・アウトリーチ活動として、授業の講師依頼などを積極的に受ける。 		
③	グローバル採用職員が不安なく着実に成長していくことが出来る様、法人本部と連携を図り支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル採用職員の課題を共有し、受入方法の標準化、職員個々のレベルアップをはかる。 ・研修や交流の場を設定し、学びの機会確保、関係性を深める。 		
④	人材育成の役割を担うトレーナーやリーダー層以上の育成力、指導力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新任職員育成の重要な位置づけであるトレーナーを対象とした、また、サポート的な役割を担うリーダー以上を対象とした研修を企画。 		

【職種別横断委員会】

《介護委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	基礎介護の統一、標準化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任職員へ基礎介護研修の企画、運営を行う。 ・ 特定技能職員への技術指導。 ・ 認知症カンファレンスシート活用の勉強会実施。 		
②	職員への育成支援の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル職員へ、段階に応じた支援を生活サービス委員会と連携して行う。 ・ 人材育成の情報共有を実施する ・ DO 簿の点検実施。 		
③	介護現場の働きやすい環境づくりへの検討。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書式や介護用品等ツールの情報共有を行い、統一できるものを整理していく。 		

【職種別横断委員会】

《看護委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	感染症予防の徹底を図る。	・BCP（パンデミック編）に準じて、発生時及び感染拡大防止の対応を多職種と連携し、職員全体へ知識技術の研修、訓練を実施する。		
②	看護業務の統一化、標準化を図る。	・マニュアルの定期確認。 ・情報交換による課題抽出と検討。 ・医療に関する研修講師及び統一した研修資料の点検を行う。		
③	計画に対して	「高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドライン」を参考に、『救急対応マニュアル』の点検を行う		

【職種別横断委員会】

《ショートステイ委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	ショートステイ6部門の情報を共有し、サービスの質の標準化と効率化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に配慮しながら年2回(4月・10月)委員会を開催。 ・各部門の運営状況を共有し、サービスの質の標準化及び効率化につなげる。 ・部門間の繋がりを強化し、利用者のニーズに法人として対応する。 ・『絆』を最大限活用して各帳票を運用する。 		
②	介護保険法令を順守し適切なサービス運用を維持。	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門年1回の特養内部監査における短期入所の項目に対応する。 		
③	本体委員会である生活サービス委員会との連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活サービス委員会からのオーダーに対応する。 		

【職種別横断委員会】

《サービスセンター委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率の達成 目標利用率を達成するため、運営状況や取組内容等を委員会で評価、分析、検討する。	・利用率向上計画シートの内容理解等を各拠点内でも進めて行く。 ・各拠点共通の課題を分析、検討し拠点ごとに取り組めるよう支援する。		
②	内部チェックを継続し、実地指導対策を行う。小委員会の中でも、各拠点の記録、計画書等の勉強会を実施	・自己点検表に基づいて、メンバー全員でチェックを行う。 ・次のチェック者を育成するため小員会でも書類のチェックを行う。		
③	通所介護のBCPを作成し、内容に合わせた訓練を実施する。	・施設内の訓練に加え、送迎中の対応訓練を実施する。 ・送迎車両用の携帯電話の活用方法を検討する（トヨクモの活用）		
④	サービス種別ごとの小委員会を実施。一般デイと認知デイそれぞれの課題を整理し、担当者間で検討、試行、評価を行う。	・一般：職員全体の活性化（新旧介護職員の連携、非常勤職員のやりがい、育成の強化） ・認知：個別記録、評価等の共有		

【職種別横断委員会】

《地域包括支援センター委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	人材育成と定着 高齢者総合相談窓口対応が円滑に行えるようスキルアップを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・部門別職員育成のための研修会の実施。 ・介護、医療、生活支援等相談対応に必要な研修への参加。 		
②	介護保険制度を遵守した事業運営を行う。 自治体との契約内容に沿った事業運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン点検の実施。 ・介護保険制度最新情報の確認。 ・指定管理評価項目に沿った事業運営を行う。 		
③	地域状況の把握から地域づくり、ネットワーク形成を行う。 関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の把握と活用。 ・関係機関と顔の見える関係作りでネットワークの維持及び強化。 		
④	後進の育成 実習生の受け入れ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・所属年数に応じた役割の遂行。 ・社会福祉士等の実習生を受け入れ、次世代専門職採用に繋げる。 		

【職種別横断委員会】

《ケアマネジャー委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法令を遵守し、健全な事業運営の推進を図る。	・委員による業務点検を全事業所に対し計画的に実施する。得た情報は共有しつつ課題分析を行い、事業の質的向上に努める。		
②	①計画に対して	・引続き令和6年度制度改正に基づき、新人研修プログラムや業務点検表等、各種マニュアル類の見直しやブラッシュアップを行う。		
③	令和6年度制度改正により介護支援専門員1名あたりの担当件数の上限増となったため、業務負担軽減に向けていく。	・日常の業務改善やDX化も視野に入れつつ、生産性向上に努める。		
④	各事業所の主任介護支援専門員体制を維持し、安定した事業運営を図る。	・各事業所 主任介護支援専門員2名の体制を維持する。 管理者以外の主任介護支援専門員について、期待する役割と業務負担の関係性構築に向けていく。		

【職種別横断委員会】

《ヘルパー委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	介護保険制度の適正な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・加算の見直し等における取得可否の確認。 ・年1回の法人内自主点検の実施。 ・訪問介護手引きの見直しと作成。 		
②	感染症や災害への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・指針やマニュアルに基づいた適切な対応。 ・BCPに沿った安定した事業継続と研修及び訓練。 		
③	人材不足と利用者の増加傾向・重度化に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営維持の為の連携、検討。 ・雇用形態、多様な働き方も視野に入れて人材に努める。 ・自立支援、重度化防止支援。 		
④				

【職種別横断委員会】

《管理栄養士委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	物価高騰への対応、食事の質の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者との連携。 ・法人内連携し情報共有を図り、サービスの質が維持できるよう改善や工夫を行う。 ・法人外からの情報収集と共有。 		
②	法人内連携・協働によるサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい栄養評価基準（GLIM基準）への理解を深め、円滑な移行ができるよう予め準備をしておく。 ・委員会にて情報提供や共有化を図り、業務最善やサービスの質の向上に繋げる。 ・多職種連携による研修や外部発信等で、相乗効果を発揮する。 		
③				

【職種別横断委員会】

《個人情報保護委員会》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	個人情報保護の内部監査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、所定のチェック表を用いて全部門の個人情報保護の取り扱いを確認。 ・監査報告書を作成し法人へ報告。 ・各施設からの改善報告を確認。 		
②	個人情報に関する規程類の管理と適正な運用	<ul style="list-style-type: none"> ・規程類に沿った適切な運用がされているか、施設長会議にて確認。 ・必要に応じて規程類の見直し。 		
③	個人情報に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回全職員対象に研修を実施し、情報漏えいのリスクや適切な情報管理について理解する。 		
④				

【足立部門】

《総務課》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	本館・別館ともに老朽化による建物および設備機器の修繕対応を計画的に実施する。	・物価高騰に伴う食材料費、光熱水費、委託業者の賃金上昇等を考慮し、利用率や収支状況を把握、法人管理課の協力を得ながら進める。		
②	ハローワーク・人材紹介会社を活用し、人材を確保と職員定着を特養と連携しながら進める。	・雇用機会を逃がさないように応募、紹介に即対応する。また採用後の職員定着に向けフォローを行う。		
③	環境整備を実施し、利用者の生活環境の向上に加え、職員が働きやすい環境整備も目指す。	・綺麗で過ごしやすい環境を整備・維持する為に5S活動を推進する。		

《部門特記事項》

- ① 本館 LED 照明器具改修工事 見込工事費 35,871,000 円（うち補助金 21,000,000 円）
- ② 別館リフォーム工事用資金積立て積立予定額 20,000,000 円

令和7年度

《年間予算表》足立部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	220	94.0%	1,047,377,000			0.0%					0.0%		****		0
短期入所生活介護	16	100.0%	79,475,000			0.0%					0.0%		****		0
通所介護	35	80.0%	102,529,000			0.0%					0.0%		****		0
地域包括支援センター			62,844,000			0.0%					0.0%		****		0
収入合計(1)			1,292,225,000	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			828,336,000			0.0%					0.0%		****		0
事業費支出			199,976,000			0.0%					0.0%		****		0
事務費支出			154,420,000			0.0%					0.0%		****		0
利用者負担軽減額			576,000			0.0%					0.0%		****		0
支払利息支出			0	0	0	****	0	0	0		****		****		0
その他の支出			3,060,000			0.0%					0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****	0	0	0		****		****		0
固定資産取得支出			40,823,000			0.0%					0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,718,000			0.0%					0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			1,692,000			0.0%					0.0%		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****	0	0	0		****		****		0
積立資産支出			28,148,000			0.0%					0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0	0		****		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****	0	0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			10,075,000		0	0.0%	0	0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			10,000,000	0	0	0.0%	0	0	0		0.0%		****		0
支出合計(2)			1,279,824,000	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			12,401,000	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			635,290,927												
当期末支払資金残高			647,691,927												

《特記事項》

- ※ 介護老人福祉施設(従来型)の収入に、東京都経営支援補助金収入 5,692,000円含む
- ※ 別館改修工事用資金積立予定額 20,000,000円計上
- ※ 本館LED照明改修工事に伴い、施設整備等補助金収入 21,000,000円、建物取得支出 35,873,000円計上
- ※ 予備費支出 10,000,000円計上

【足立部門】

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	職員の定着率の安定と後進育成を意識した各層のマネジメント力向上。	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーナーの育成強化。 ・育成計画の明確化と実施。 ・特定技能職員の計画的な育成。 ・マネジメントに関する研修参加。 		
③	利用率94%を目標とし、延べ平均空床日数30日/月以下、延べ平均入院日数250日/月以下を目指し運営の安定を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・SS相談職と協働の継続。 ・入院直後から情報収集し、適宜、医療機関へ退院の可能性を探る。 ・基礎介護力向上。 		
③	ケアの質を高めるために職員の知識と技術の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・OT/PTを活用し、適切なシーティング、ポジショニングの徹底。 ・福祉用具の整備。 ・委員会強化、会議内容の見直し。 		
④	更なる職員の残業削減等を目指し、心身ともに健やかに働ける環境を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務表管理、フロア格差の是正。 ・フロア課題を役職者が把握し、優先業務を適宜検討、変更する。 ・職員の声に耳を傾ける。コミュニケーション強化。 		

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	専門性を活かした対応能力を身につけて看護・ケアの質を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・各症状、状態のモニタリング結果を共有し適切な対応をする。 ・専門知識を共有し、職員個々のスキルアップを図る。 		
⑥	食形態ごとの栄養価の差異による低栄養を予防すると共に、栄養価のアップした食事提供を目指す。食事満足度の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・主食の分量の見直しを行い、栄養価の向上を図る。 ・ふれあいラウンジやフロアでの食事イベントの計画、実施。 ・食材費高騰の中でも、献立の工夫で食事満足度の維持・向上を図る。 		
⑦	短期入所生活介護ニーズに合わせた目標の設定や支援を行う事で、ご利用者やご家族の満足度の向上を目指し、平均利用率100%を目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種と連携のもと、個別支援の立案と提供。 ・余暇活動の提供と参加。 ・担当者が直接介護に関わり、アセスメントと情報共有に役立てる。 		

【足立部門】

《デイサービスセンターはなはた 一般》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営。 年間平均利用率80%、利用者登録人数95名を目標に事業運営の安定化を図る。	・重度者や対応困難者、総合事業利用者の柔軟な受入。 ・中重度者ケア体制加算、個別機能訓練加算を安定的に算定する。		
②	サービスの向上。 職員個々の専門性を高め、各活動の意義や目的を理解し、発信、提供する事で、サービスの質向上を図る。	・各会議の効率性と質の向上。 ・各活動グループで2ヵ月毎に内容を評価し、効果的（身体機能維持、認知症予防）なサービスを提供。		
③	人材育成。 職員のスキルアップ、観察力、対応力、見守り力の向上を図る。	・計画的な内部研修の実施。その他外部研修への積極的参加。 ・月1回実施するケース検討会議の結果を共有し、ケアの統一化、PDCAサイクルを回す。		
④	地域貢献。 地域サービス事業の実施。	・地域住民に向けた来食サービスを継続する。 ・内容を充実させ、クローバー大学の開催を継続する。		

【足立部門】

《足立区地域包括支援センターはなはた》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	新採用の職員定着を図るとともに、実態把握訪問事業を12月末までに、その他令和7年度足立区委託事業を年度末までに確実に実施。	・新入職員2名にリーダーがOJTを行い、3か月～半年毎に面談し進捗確認と調整をする。育休職員の復帰も全員でフォローし事業を管理。		
②	新規事業等(①複合介入型はつらつ高齢者促進事業、②あだちオレンジチェック等)の把握と遂行。	・いずれも今後の通知で詳細を把握。①は必要な地域住民へ周知し登録支援を年10件行う。②は実態把握訪問事業で案内し推進員と協同。		
③	自主グループ創出2カ所と地域連携の強化。	・課せられた目標値11カ所に対し現在6カ所。既存グループ支援と新規立上げを2カ所行う。新センター長中心に関係機関挨拶を月5件行う。		
④	高齢者への終活の必要性の周知と権利擁護事業へのつなぎの強化。	・独居・身寄りなし単身高齢者が緊急連絡先や保証人の必要性に気づき、各種制度・事業へつながるよう周知・啓発の機会を年4回設ける。		

【扇部門】

《総務課》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	施設内の整理整頓による生産性の向上	・収納スペースの最適化、物品の所在を明確にすることで探し物にかかる時間を削減し、無駄な作業を無くす。また整理・整頓・清掃・躰(5S)に基づき、全職員が定期的な点検や改善活動を実施し、職場環境の向上に取り組む。		
②	収支バランスを考えながら安定した施設運営を行う	・利用率の向上と加算項目の積極的な算定、また補助金の有効活用を検討する。 ・消耗品の無駄の削減に取り組む。		
③	部署間の連携をはかり業務の効率化を図る。	・スタッフ会議の定期開催やサイボウズの活用、研修や勉強会の共同開催、コミュニケーションの活性化を通じて部署間の情報共有と連携を強化する。		

《部門特記事項》

令和7年度

《年間予算表》扇部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	76	95.0%	362,320,000			0.0%					0.0%		****		0
短期入所生活介護	4	130.0%	25,627,000			0.0%					0.0%		****		0
通所介護	30	77.0%	77,582,000			0.0%					0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	57.0%	34,511,000			0.0%					0.0%		****		0
訪問介護(高齢)		月平均22名利用	14,042,000			0.0%					0.0%		****		0
地域包括支援センター			63,087,000			0.0%					0.0%		****		0
収入合計(1)			577,169,000	0		0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			380,728,000			0.0%					0.0%		****		0
事業費支出			88,184,000			0.0%					0.0%		****		0
事務費支出			92,599,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			246,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
その他の支出			2,041,000			0.0%					0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			2,160,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,197,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			4,071,000			0.0%					0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			1,200,000	0	0	0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****			0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			1,000,000		0	0.0%			0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****			0		****		****		0
支出合計(2)			574,426,000		0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			2,743,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			161,733,609												
当期末支払資金残高			164,476,609						0						

《特記事項》

※

※

【扇部門】

《特別養護老人ホーム扇》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	特養 95%、ショートステイ 120%以上の利用率を確保し、安定した経営基盤とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・待機者 3 名以上を確保し、空床後 14 日以内に入居出来るようにする。 ・ショートステイ新規は月 1 名以上確保、緊急ショート等空床を活用。 		
②	役職者の知識、能力の向上を図り、円滑な業務遂行とケアの質を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・職位、経験に応じた研修の実施。 ・リーダー間での意見交換の機会を設け、フロア間での連携を計る。 		
③	業務の見直し、改善を行い職員の介護負担の軽減に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上委員会を開催。 ・生産性向上に資するガイドラインに沿った業務改善を進める。 		
④	ケアマネジメントの適切な管理。	<ul style="list-style-type: none"> ・兼任ケアマネを中心に管理する。 ・PDCA サイクルが円滑に進むよう職員の理解を深める。 		

《特別養護老人ホーム扇》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	身体機能の維持が出来る限り長く 続くよう機能訓練指導員と介護職 の連携を強化し、生活でのリハビリ に努める。	・生活機能向上委員会の開催。 ・リハビリ計画を中心に生活の中 で介護職が出来るリハビリを実施 していく。		
⑥	食材費高騰に伴い、限りある費用の 中で工夫を凝らし、美味しく喜ばれ る食事を提供する。	・日々の献立の工夫と共に誕生食、 祭事メニュー等ご利用者のニー ズを汲み取り、満足度の高い食事を 提供する。		
⑦				
⑧				

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 一般》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、 登録率90%以上(27名) 平均利用率77%(23.1名) 総合事業・要介護の合計登録者90名以上を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所への訪問等。 ・Xやパンフレット等の媒体を活用し、見える化を図る。 ・利用希望者、利用者のニーズの把握と提供。 ・科学的介護推進体制加算の取得。 		
②	自立支援に向けた、適切で満足度の高い個別ケアサービスの実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の意向を踏まえ、個々の状態を的確に把握し目的に沿った支援を行う。 ・生活リハビリ、余暇時間の充実。 ・スキルアップ研修の実施と報告。 		
③	サービスの質の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・センター会議等で接遇や自立支援の意識付、基礎介護等の課題検討 ・定期的に研修の実施。 ・職員間で伝え愛のできる職場風土をつくる。 		

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 認知》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、平均利用率57%(6.8名)以上、全体登録者30名以上を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所への訪問等 ・Xやパンフレット等の媒体を活用し、見える化を図る ・科学的介護推進体制加算の取得 ・利用率と空き状況を常に意識し、新規やワンデ이의希望時は即対応していく。 		
②	在宅生活の継続を目的とし、認知症症状の悪化を防ぎつつ現状の維持に繋げる支援をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅での日課や日常生活動作等把握し、機能や能力維持に努める。 ・穏やかな環境による個別支援。 ・生活リハビリ、余暇時間活動提供の充実 		
③	サービスの質の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応力向上の為、センター会議等で接遇や基礎介護等を学びつつ、意見交換を行っていく。 ・身体拘束等の適正化や虐待防止研修を通して、正しく理解する。 		

【扇部門】

《ヘルパーステーション扇》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な空き情報の提供と PR に努め、新たな顧客を獲得する。 ・運営基準に沿った適切なサービスの提供と利用者ニーズへの対応。 		
②	ヘルパーの確保と定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・採用活動の継続・適正な労働条件の確保と改善 ・ヘルパーの現状（高齢）に考慮したサービスのコーディネート。 		
③	個々のスキルアップを図り、サービスの質の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内合同研修（年5回）、感染症、個人情報等の全体研修を予定。状況に応じ合同研修又はテキストによる個人研修に置き換える。 		
④	感染症や災害発生時の対応を適切に行い事業の継続、安心・安全なサービスを提供していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防策マニュアルの整備。 ・BCPに沿った研修・訓練の実施。 ・緊急時持出しファイルの再確認（更新・見直し） 		

【扇部門】

《足立区地域包括支援センター扇》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	実態把握 100%達成に向けた計画的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地区担当別での割振り。 ・毎月件数報告と実施状況の確認を行い、不在拒否等の訪問調整。 ・12月までに85%達成(9.5%/月) 		
②	通いの場の数を年度初めの数から1つ増やしていく。令和6年度までのものは、後方支援を継続していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・2層を中心に継続支援をしていく。 ・元気アップ教室から自主グループを生み出していく。 		
③	エリア内居宅介護支援事業所に向けた「地域ケアネットワーク」を開催し、横の繋がりによる相互協力や包括との連携強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回開催を目標に、これまでのアンケート結果を基に要望に沿った内容で企画をし、単独開催する。 		

【六月部門】

《総務課》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	事業運営継続の為に収支状況に応じて執行計画の見直しと適正処理に関する指示を受け、適宜修正する。	<ul style="list-style-type: none"> ・執行状況を把握し、必要に応じ本部事務局に指示を仰ぐ等で迅速に対応する。(WEBを有効に活用する) ・スタッフ会議で収支状況を報告し情報共有を図る。 		
②	令和10年の大規模改修まで既存の設備、備品等の維持管理を行う、経年劣化に対しては本部管理課や足立区と協議検討し業務に支障のないよう対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・故障、破損に対する迅速に状況を把握し、営繕職員と連携する。 ・修繕規模に応じて足立区と協議し速やかに業者等との連絡調整を図る。 		
③	総合受付窓口としてのサービスマナーの維持、向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ロビーの整理整頓、清潔の維持。 ・外来者への感染症予防呼びかけ ・定期的なマナーチェック実施。 		

《部門特記事項》

- ① 特養温冷配膳車1台購入（足立区の費用で交換予定）

令和7年度

《年間予算表》六月部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	50	95.0%	243,654,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	5	100.0%	27,596,000			0.0%			0		0.0%		****		0
通所介護	25	77.0%	68,586,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	60.0%	36,007,000			0.0%			0		0.0%		****		0
居宅介護支援事業			43,132,000			0.0%			0		0.0%		****		0
訪問介護(高齢)	月平均27名利用		43,356,000			0.0%			0		0.0%		****		0
訪問介護(障がい)	月平均4名利用		1,806,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ケアハウス	80	75.0%	142,106,000			0.0%			0		0.0%		****		0
地域包括支援センター			71,075,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			677,318,000	0	0	0.0%			0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			410,102,000			0.0%					0.0%		****		0
事業費支出			115,684,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			132,707,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			540,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
その他の支出			2,621,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	0.0%		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			4,250,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,471,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			4,020,000			0.0%					0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			4,771,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****			0		****		****		0
支出合計(2)			677,166,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			152,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			182,058,726						0						
当期末支払資金残高			182,224,726						0						

《特記事項》

※

※

【六月部門】

《特別養護老人ホーム六月》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率 95%	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎介護力の底上と柔軟性ある対応ができるよう情報共有を図る。 ・体調変化時にケアの早期変更や病院と連携し入院日数を減らす。 		
②	職員相互の関係性の再構築 経験の浅い職員が不安なく勤務できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の声が風通しよく反映されるようフロア一会議を開催する。 ・業務効率が図れる業務改善とスケジュール調整を意図的に行う。 		
③	利用者の個別ケアプランを具体的実践が可能な内容に見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個々の思いを叶えるように計画し実施する。 ・ボランティア、慰問の受入れを広げ、日常生活に潤いを提供する。 		
④	感染症予防対策と、個別の健康維持、リスク管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策の徹底と対応。 ・介護職員への緊急時対応指導。 ・困難事例に対してチームで取組む。(褥瘡予防、皮膚ケア) 		

《特別養護老人ホーム六月》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	嚥下困難者への適切な対応を行う 安楽に食事、栄養が摂取できるように支援する。	・適切な食形態への変更が適切に行えるようにする。 ・安全と見た目の良さを兼ねそなえた食事の調整。		
⑥	短期入所生活介護 利用率目標 100% 特養空床利用を含む	・長期利用者の積極的な受入れを 行政機関、包括、居宅に働きかける ・平均利用日数が増加するよう、本人、家族、居宅に働きかける。		
⑦	短期入所利用者の個別支援計画、モニタリング等の見直しと実践。	・個人にあった生活ニーズを日課に組み込んで実施する。 ・居宅ケアプランと連動した内容で個別支援計画を実施する。		
⑧	併設事業のメリットを活かした広報活動	・併設の通所介護、訪問介護、居宅介護支援、ケアハウス等と連携してサービス内容を互いにPRする。		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 一般》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率77% 定員25名に対して、毎日19.2人以上の利用者を維持できるよう登録数を増やす。	・事業所での取組内容を具体的にケアマネにアピールする。 ・毎月のモニタリング結果報告の内容を充実させる。		
②	活動内容の見直しを図り、集客に繋げていく。	・日常プログラムの見直しを図り、マンネリ化を改善する。 ・生活リハビリを職員間で理解し習慣化し個別対応を充実させる。		
③	要望にあった行事の開催 利用者懇談会の結果を元に行事等を企画する他、ボランティアを積極的に受入れ活動を活性化する。	・個別計画に基づいた外出行事の実施継続。 ・地域との交流機会を増やす。 ・移動販売や理美容の活用。		
④	介護保険制度に合わせた事業内容の実施。加算要件や自主点検表に基づく体制の整備。	・通所介護BCPに基づいた訓練の実施。 ・LIFE活用（フィードバック活用） ・内部監査の結果による修正等。		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 認知》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率60% 定員12名に対して毎日7.2人以上の利用者を維持できるよう登録者数を確保する。	・個々の利用者状況を把握し、評価し一般デイからの移行を計画的に進める。 ・個別ケアの強化と報告、PR実施。		
②	横断委員会の小委員会で得た情報や様式例を活用して、個別ケアを充実させる。	・個別モニタリングの内容を見直し、一般デイとの差別化を図る。 ・日常生活動作に着目し活動プログラムに取り入れる。		
③	地域に向けた取組の継続し地域との交流機会を増やす。	・年2回の運営推進会議の活用 ・ボランティアの積極的な受入れ ・地域向けの事業内容発信 ・外出等を通じて地域に出ていく。		
④	介護保険制度に合わせた事業内容の実施。	・通所介護BCPに基づいた訓練実施 ・LIFEの活用(フィードバックの活用) ・内部監査結果に基づいた修正。		

【六月部門】

《足立区ケアハウス六月》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率 75% 新規入所者確保の宣伝活動の充実 HP や SNS 活用で紙媒体以外の窓口 の拡充と効率的な宣伝活動実施。	・住区センター、区民事務所等高 齢者相談窓口への資料配布等。 ・新規 HP 作成。詳細な情報発信を 定期的に行い入所に繋げる。		
②	退所者を増やさない取組を行う。 利用者の心身状態把握を積極的に 行い、変化に迅速に対応した生活継 続支援を行う。	・食事、連絡会等の際により詳細な 様子観察と状態把握に努める。 ・適宜介入し医療、介護保険サー ビスに繋げる。		
③	生活の中に潤いと楽しみを提供。 日常生活の中に潤いや楽しみを積 極的に提供し、少しでも利用者に活 動的な生活を送ってもらう。	・感染症対策に留意しながら外部 ボランティアや専門機関と共同し て行事を企画、運営する。 ・生きがい、クラブ活動を増やす。		
④	地域、家族との交流の場を作る。 地域の一員であることを認識し、地 域や家族との交流を深める。	・家族が参加できる行事の立案、運 営。(六月祭や家族懇談会の実施) ・包括や行政機関との連携 ・六月祭での地域向け入所説明会		

【六月部門】

《ケアマネージメントセンターはなはた》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	ケアプラン作成件数 39/1人 安定した事業運営と地域からの要望に応じることが出来るよう、事業体制と新規依頼件数を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・特定事業所加算Ⅱ維持 ・職員6名体制を維持していく。 ・医療機関からの紹介や支援困難ケースを率先して受託する。 		
②	職員育成 職員増により基礎知識のばらつきや差が生じないよう、研修機会の確保とケアプラン点検を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別研修計画に沿った研修受講(1人4回/年) ・月一回のケアプラン点検を行いプランの質を維持する。 		
③	適正な事業運営 法令遵守、必須業務の計画的な実施を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP、感染症対策、虐待防止等の委員会参画と研修受講を漏れなく行う。 		
④	地域との関係構築 地域住民、関係機関との関係性を深め、地域から信頼される事業所を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括事業で開催される地域交流会の場に参画していく。 ・職能団体の活動を通じて、地域交流会を作っていく。 		

【六月部門】

《ヘルパーステーション六月》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	1日の目標訪問件数40件 サービス提供責任者1人当たりの 利用者25名(上限50名)を維持し 安定した事業運営を行う。	・居宅支援事業者への働きかけ新 規利用者を獲得する。 ・新規依頼に応えられるよう訪問 介護員の増員を図る		
②	事業所加算(IV)(V)の算定要件を 満たすため、訪問介護員個々の研修 計画を作成し、研修を実施す	・訪問介護員個々の課題の明確化 ・訪問介護員の研修計画作成と研 修の実施。 合同研修や集合研修の実施。		
③	訪問介護のBCPの整備と理解。 訪問介護計画書のチェックと内容 の充実を図る。	・サービス提供責任者ごとに担当 利用者の記録等の見直しを行い、所 定の書類の確認を行う。		
④	利用者、家族、地域や他職種(医療、 介護等)のニーズを把握し連携を図 る。 MCSに関して情報収集し検討する。	・MCSに関して情報収集と法人内連 絡会での検討に沿って対応する。 ・包括、居宅、区内訪問部会等を活 用して情報収集を行う。		

【六月部門】

《足立区地域包括支援センター六月》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	総合相談支援事業において、実態把握訪問を月 130 件程度実施し、区民の方々に必要な情報を提供、状態の確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問対象者の状態把握及び介護予防事業への勧奨を行う。 ・認知症状等が感じられる方に受診勧奨や受診支援を行う。 		
②	高齢者の心身状態の維持を図る為に、介護予防事業への参加勧奨を行う。また自主グループ活動の立上げ支援、継続支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「パークで筋トレ」「みんなで元気アップ教室」等の参加勧奨を行う。 ・自主グループ活動が継続できるよう適宜確認や助言を行う。 		
③	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業において、介護支援専門員や介護・医療関係者との定期的な交流会や研修会、相談サポートを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアネットワーク、地域ケア会議の開催。 ・医療介護連携事業の研修等に出席し顔の見える関係作りを行う。 		
④	虐待や多くの生活課題を抱える状態、消費者被害を受けた高齢者に尊厳ある生活が維持・継続できるよう権利擁護支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の活用相談、申立て支援実施。虐待通報の全件対応。 ・消費者被害の防止に関する情報提供及び相談を行う。 		

【千住部門】

《総務課》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	建物や設備の安全を維持するために、耐用年数超過、経年劣化による設備機器、備品等の交換、修繕を計画的に進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・設備や備品等を管理し安全な運用が維持できるよう速やかに対応。 ・法令を遵守し、緊急性が高い物を優先し修繕等の対応を進める。 		
②	安定した事業運営のために、各サービスの適正人員と収益を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月各サービスの運営状況を各部門と共有(利用率・収支・勤怠)。 ・適切な人員補充と人材の確保。 		
③	3S(整理・整頓・清掃)と3M(ムリ・ムダ・ムラ)改善に取り組み生産性向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所や倉庫の3S活動を実施し職場環境を整備。 ・3M改善の取り組み実施。 		
④	災害や感染症による有事に対応した事業継続ができるよう備える。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害及び感染症BCPに則し訓練の実施と備品や備蓄の管理。 		

《部門特記事項》

① ナースコール設備更新(ワンフロアのみ) 見込額 9,000,000円

令和7年度

《年間予算表》千住部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(新型)	100	96.0%	599,574,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	20	88.0%	105,622,000			0.0%			0		0.0%		****		0
通所介護	35	82.0%	96,280,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	81.0%	48,068,000			0.0%			0		0.0%		****		0
居宅介護支援事業		279件	63,115,000			0.0%			0		0.0%		****		0
グループホーム	18	98.0%	101,360,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			1,014,019,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			676,701,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			128,222,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			122,404,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			352,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			1,589,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の支出			3,828,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			46,360,000			0.0%			0		0.0%		****		0
固定資産取得支出			13,360,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,015,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			4,697,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			6,000,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			6,626,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
支出合計(2)			1,012,154,000		0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			1,865,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			216,376,912						0						
当期末支払資金残高			218,241,912						0						

《特記事項》

※ 収入の内、介護老人福祉施設は5,088,000円を東京都経営支援補助金、居宅介護支援事業：300,000円、グループホーム：450,000円は第三者評価補助金として含む。

【千住部門】

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、適正収益を確保する（利用率目標 特養単体 96%）。	<ul style="list-style-type: none"> ・記録のダブルチェックと多職種カンファレンスを実施し入院日数を削減。 ・退所後の空床入居日数の短縮。 *空床待機者を常時6名以上確保。 *空床後の入所平均日数10日以内。 ・費用対効果を検証しながら新規加算の積極的な算定を検討。 		
②	利用者の尊厳やQOLを保ち、利用者や家族にとっても、安心・安全な生活環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切な対応防止、虐待防止の取組。 ・暮らしの質を確保しながらの快適・安全な環境の確認と設定。 ・感染症BCPに応じた対応・訓練の実施。 ・ご家族や外部と交流機会の増大。 		

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	新規職員の獲得と職員が定着できる働きやすい環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・3S活動を実施し職場環境整備。 ・キャリア別介護研修の実施。 ・0A化した記録システムの運用。 ・介護支援機器(見守り・移動支援等)の導入検討。 ・グローバル職員の丁寧な指導。 ・介護実習生積極的な受入。 		
⑥	栄養価を維持しながら、おいしく、安全に食べられる食事の維持・向上。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の食事意見を確認し、質の向上につなげる。 ・視覚に配慮した彩りよい加工食と栄養価の工夫。 ・有事(災害・感染症)の食事提供に備え(委託業者と連携・備蓄・使い捨て容器等)。 		
⑦	(短期入所生活介護) 安定した事業運営のため、適正収益を確保する(利用率目標 短期入所生活介護単体 88%)。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月4名以上の新規利用者を獲得し実人数65名以上を維持。 ・利用の相談等に積極的に対応し、緊急な依頼でも迅速に対応。 ・2ユニット間での柔軟な受入れによる利用者数の獲得。 		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 一般》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者 を確保し適正収益を確保する（利用 率目標 82%）。	・登録者数を 110 名以上確保（一般・ 総合事業合計） ・居宅ケアマネに毎月訪問（千住エ リア以外も含む） ・新規依頼、増回依頼への迅速な対 応と断らない姿勢の徹底。		
②	通所している全利用者が安全・安 心・快適に利用できるよう環境整備 と職員の資質の向上を図る。	・利用者満足が得られる活動を提 供（個別・集団）。 ・虐待防止研修実施（接遇強化）。 ・安全運転者講習実施。 ・BCP 研修の実施。 ・3S, 3M を実施し職場環境整備。 ・人財育成強化（制度理解と運営）		
③	社会福祉法人として地域に信頼さ れ地域ニーズに貢献する活動を実 施する。	・地域で活躍するボランティアや 医療福祉実習生の受け入れを行う。		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 認知》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者 を確保し適正収益を確保する（利用 率目標 81%）。	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者数を 30 名以上確保。 ・居宅ケアマネに毎月訪問（千住エ リア以外含む） ・一般デイと連携し該当利用者の 認知デイへの適切なサービス移行。 		
②	通所している全利用者が安全・安 心・快適に利用できるよう環境整備 と職員の資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修実施（接遇強化）。 ・安全運転者講習実施。 ・BCP 研修の実施。 ・認知症に特化した活動支援。 ・3S, 3M を実施し職場環境整備。 ・人財育成強化（制度理解と運営） 		
③	社会福祉法人として地域に信頼さ れ地域ニーズに貢献する活動を実 施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍するボランティアや 医療福祉実習生の受け入れを行う。 		

【千住部門】

《ケアマネージメントセンター千住桜花苑》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者数を確保し併設事業所との協働を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規ケアマネの採用と育成。 ・目標プラン数保持(総数 279 件)。 ・運営会議にて利用者や地域のニーズを発信し、協働して併設事業所の資質向上につなげる。 ・併設事業所との連携率の把握。 		
②	介護保険制度に精通し法令順守とケアマネジメント資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・主任ケアマネが複数いることを活かした研修計画等の立案。 ・プロセス確認表の運用。 ・週1回ケアマネ会議を実施し事例を共有してのスキルアップ。 ・他事業所との事例検討会の実施。 ・3S, 3M を実施し職場環境整備。 		
③	地域の高齢者ができる限り地域での生活を継続できるために、行政や各サービスとの連携を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターや介護サービス事業所と連携し、シームレスな支援を実施する。 		

【千住部門】

《高齢者グループホーム千住さくら》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のため、適正収益を確保する（利用率目標 98%）。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居待機者の速やかな入所。 ・入院と空床の総日数 120 日以下。 ・費用対効果を検証しながら新規加算の積極的な算定。 		
②	入居者が安全に、安心した暮らしが継続できるように職員の資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修（認知症対応に特化した接遇向上）。 ・転倒事故の発生減少（危険予知と報連相の徹底）。 ・BCP（災害・感染症）に則した訓練の実施。 ・生産性向上の取り組み（3S, 3M） 		
③	地域ニーズに即した地域貢献の取り組みを行っていく（SDGs）。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生やボランティアの受入。 ・職場体験の受け入れ。 ・こども 110 番の実施。 ・事業所が地域に開かれた場としての取り組み（お茶会等）。 ・地域行事への積極的な参加。 		

【花畑部門】

《総務課》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	部門全体の収支状況を共有し、課題整理と改善策の検討を行い、安定した事業運営に向け、財務基盤を強化する取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、予算執行、運営状況を共有。 ・廃棄物排出量の把握と削減。 ・設備、備品等の管理を徹底し、安全に運用ができるように対応する。 		
②	人材確保と職員定着を各部署と連携しながら進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用機会を逃さないように、速やかに面接設定を行う。採用後も配属部署との連携を図り、不安なく現場に定着できるようサポートする。 ・グローバル職員については、生活面でもサポートを行い、安心して働ける環境を作る。 		
③	地域交流の促進。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域合同防災訓練の継続。 ・喫茶コーナーの再開。 ・地域交流スペースを情報発信の場として活用する枠組みの構築。 		

《部門特記事項》

エアコン更新（4・5F居室） 75台 8,690,000円

WEB会議用ノートPC 2台 300,000円

令和7年度

《年間予算表》花畑部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	40	96.0%	203,085,000			0.0%			0		0.0%		****		0
介護老人福祉施設(新型)	100	96.0%	594,008,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	20	75.0%	92,957,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	72.0%	44,818,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			934,868,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			590,745,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			125,082,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			125,406,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			1,236,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			5,220,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の支出			3,060,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			54,168,000			0.0%			0		0.0%		****		0
固定資産取得支出			9,100,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,869,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			5,352,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			5,529,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			3,344,000			0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
支出合計(2)			931,111,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			3,757,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			238,685,953						0						
当期末支払資金残高			242,442,953	0					0						

《特記事項》

※ 4・5F居室エアコン更新75台 8,690,000円

※ WEB会議用ノートPC2台 300,000円

※ オーバーテーブル6台 892,000円

【花畑部門】

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型)》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：96% 安定した事業運営を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居待機者2名の常時確保。 ・年間総入院数1,400日以内。 ・ミールラウンド(各専門職)を実施し、食事の姿勢、介助方法を協議し実践する。 		
②	スキンケア、感染予防、業務軽減の視点より、新たに排泄ケアの見直しとしてウェットワイプの導入を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェットワイプのデモンストレーションと導入に向けてのロードマップをケア検討委員会において協議し、後期より本格運用する。 		
②	入居者への安全な介護と、職員の負担軽減を図るために『抱えない介護』を推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ケア検討委員会にて福祉用具の勉強をし、実技周知に繋げていく。 ・用具の使用状況を毎月の会議で確認。運用の継続性を意識付ける。 		
④	③計画に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具を計画的に購入し、抱えない介護を実践するべく環境を整える。常に新しい情報を収集し、多職種間で検討をする。 		

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型)》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	階層別に応じた職員のスキルを高められるよう、計画立てて人材育成とけケアの質の底上げを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインと机上実践でのハイブリッドな研修を計画。実施。 ・ユニット会議に主任、係長が出席してリーダーと多職種間でのケア情報の共有をサポートする。 		
⑥	⑤計画に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・指導職、リーダー、トレーナーへ、指導方法も含めフォローの実施。 ・ケア研究会研修受講 ・認知症介護実践リーダー研修受講。(主任・係長) 		
⑦	【短期入所】 目標利用率：75% 安定した事業運営を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年5,760日(月平均480日)の稼働の確保。 ・窓口業務の見直し(担当制による業務配分・毎月の受付業務)。 		
⑧	⑦計画に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・新規獲得、及びリピートに繋げるための営業の実施。 ・機能訓練体制を整え、新規加算取得をする。 		

【花畑部門】

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(従来型)》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：96% 安定した事業運営を図る。	・空床発生から入居までの期間を平均7日以内で行う。 ・入居待機者男性1名、女性1名を常時確保。		
②	①計画に対して	・年間総入院日数540日以内。 ・介護係長、各専門職とミールラウンドを継続実施。介助方法を協議。防げる誤嚥性肺炎を予防していく。		
③	①計画に対して	・4月より、高齢者施設等感染症対策向上加算Ⅱを算定に追加。 ・現在取得している加算継続のため、多職種連携を図る。		
④	スキンケア、感染予防、業務軽減の視点より、新たに排泄ケアの見直しとしてウェットワイプの導入を図る。	・ウェットワイプのデモンストレーションと導入に向けてのロードマップをケア検討委員会において協議し、後期より本格運用する。		

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(従来型)》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	入居者への安全な介護と、職員の負担軽減を図るために『抱えない介護』を推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ケア検討委員会にて福祉用具の勉強をし、実技周知に繋げていく。 ・用具の使用状況を毎月の会議で確認。運用の継続性を意識付ける。 		
⑥	⑤計画に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具を計画的に購入し、抱えない介護を実践するべく環境を整える。常に新しい情報を収集し、多職種間で検討をする 		
⑦	階層別に応じた職員のスキルを高められるよう、計画立てて人材育成とけケアの質の底上げを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインと机上実践でのハイブリッドな研修を計画。実施。 ・ユニット会議に係長が出席してリーダーと多職種間でのケア情報の共有をサポートする。 		
⑧	⑦計画に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・指導職、リーダー、トレーナーへ、指導方法も含めフォローの実施。 ・ケア研究会研修受講 ・認知症介護実践リーダー研修受講。(主任・係長) 		

【花畑部門】

《デイサービスセンターあすか 認知》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：72% 1日9名の来所を確保し、安定した事業運営を図る	・月～土の週間の利用者登録が10名以上を確保する。 ・利用率向上シートを継続的に作成し、出来る最善策を行う。		
②	認知症対応型通所に必要な研修を定期的を実施。専門性を深め、利用者の特性に合わせた支援を行う	・必要な研修を計画的に実施し、職員のスキルアップにつなげる。 ・BCPに基づく研修（訓練）を実施し、有事の際でも慌てずに対応できる体制を作る。		
③	介護事故防止と、生産性向上を目的とした業務改善を行う	・5S活動を実施し業務の見直しを実施。残業時間数を減らす。 ・タブレット使用にて記録の効率化を図る。		
④	認知症に特化したケアの提供	・通所介護計画書に係る書類を全職員と共有し、個々の状態に合わせた支援に繋げる。		

【荒川部門】

《総務課》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	介護報酬収益と事業所大規模改修に伴う区からの減収補填にて安定した事業運営が図れるよう、収支状況の適切な把握と共有に努める。	・スタッフ会議で収支や予算執行状況を確認しながら必要事項を検討していく。9月以降代替施設での事業運営となるため前年度対比等の経過を見守りつつ、必要時は対策を検討する。		
②	職員人材を確保しながら、定着率の安定を図る。(離職率5%)	・スタッフ会議にて超過勤務や有給取得状況を確認しながら、特定の職員に負担がかかっているか確認し必要に応じて対策を検討する。		
③	事業所大規模改修による台東区への移転後も事業が滞りなく運営できるようにする。	・移転先で使用する備品や廃棄する備品、書類等の選定を行う。 ・移転先の修繕などは、区と協議しながら実施する。		

《部門特記事項》

令和7年度

《年間予算表》荒川部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
介護老人福祉施設(従来型)	50	92.0%	473,885,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	10	21.3%	46,563,000			0.0%			0		0.0%		****		0
通所介護			0			#DIV/0!			0		#DIV/0!		****		0
居宅介護支援事業			28,441,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			548,889,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			367,758,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			48,507,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			91,755,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			5,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			0	0	0	****			0		****		****		0
その他の支出			1,490,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			1,567,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			3,321,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			1,000,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			2,320,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****			0		****		****		0
支出合計(2)			517,723,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			31,166,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			34,923,320						0						
当期末支払資金残高			66,089,320						0						

《特記事項》

- ※ 介護老人福祉施設収入には、226,885,000円（その他雑収入）を含む。
- ※ 介護老人福祉施設収入には、2,798,000円（受託事業収入）を含む。
- ※ 介護老人福祉施設収入には、7,382,000円（人件費積立資産取崩収入：3,520,000円、施設整備等積立資産取崩収入：3,862,000円）を含む。

【荒川部門】

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	事業所大規模改修(以下 大規模改修と呼ぶ)に伴い入居定員は現在の100名から50名に変更となる。年間目標利用率は92%とし達成に向けた入居支援に努める。	・地域貢献、安定した事業運営に向け退居発生から入居までを平均10日以内で行う。又、常時3件の面接済み待機者確保に努める。		
③	年間延べ入院者日数を1,100日以内とする。 ケア(食事・排泄・認知症対応)に必要な知識と技術の習得に取り組み、質的向上を図る。	・基礎介護研修とフロアの課題解決が連動するように研修内容を定期的に多職種で見直す。又、高齢者に多い疾患での入院を中心に分析、対策検討しつつ入院日数減を図る。		
③	利用満足度を高めるため、生活の中の楽しみを増やしたい。	外部ボランティアやオンラインレクを継続するとともに、新たな取り組みの検討も行う。		
④	大規模改修に伴う課題 入居定員や居住環境の変化もあるため、利用者の生活に影響が無いよう十分な準備に努める。	環境に合わせたユニット編成や職員体制の検討、生産性向上の視点も持ちながら業務手順などを見直す。		

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	大規模改修に伴い入居定員の変更があるため、加算算定要件等の把握に努めつつ漏れなく確実な運用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・基準省令など理解を深める。変更に必要な届出等を確認する。 ・LIFE のフィードバック情報の効果的な活用を推進する。 		
⑥	福祉用具や機器の導入、研修の実施等、利用者、職員の負担軽減に繋がるような取り組みに向けていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・移乗補助用具の導入、福祉機器の試行や外部研修への参加を通じ、腰痛予防を図る。 生産性向上に資する活動を進める。 		
⑦	大規模改修に先駆け、ショートステイは6月末にて事業休止を予定。4～6月の目標利用率を85%としてできる限りの地域貢献を図る。又、休止に向けて混乱がないように進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や居宅介護支援事業者への情報提供をこまめに行い、満足度の高い利用を目指す。又、休止に向けて確かな情報発信に努める。 ・休止に先駆け利用控えの増加が懸念されるが、営業活動により最小限に抑えられるよう努める。 		

【荒川部門】

《グリーンハイムケアマネジメントセンター》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人の定める担当件数（管理者：20～24件、常勤：40件～上限範囲内程度）の獲得と特定事業所加算Ⅱの算定維持を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規受入れ可能時件数を常に把握し、依頼は積極的に受け入れる。 ・地域包括支援センター等の関係機関へ空き情報を提供していく。 ・昨年度(1月)より増員となったケアマネジャーに対し、チームとしての支援体制を強化しつつ担当件数の上限に近づけられるようにする。 		
②	事業所 大規模改修による移転後も必要な準備や対策を講じつつ、サービスの質の維持を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・移転先が確定次第、利用者・家族・関係機関に周知する。又、必要となる備品や物品を整え、円滑な事業運営の継続に努める。 ・部門長や法人関係部署とはリモート等を活用し連携・協力を行う。 		
③	居宅介護支援事業所としての地域貢献に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・契約に繋がらない相談等にも、可能な限り誠実に対応していく。 ・地域のキャラバンメイト活動参加など、地域貢献活動を継続する。 		

【荒川部門】

《東日暮里地域包括支援センター》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	職員がそれぞれの役割を理解し業務や支援について情報共有を行いつつ、ワンチームとして利用者支援に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝・夕の申し送りを確実に行う。 又、月3回程度行われるミーティングには原則全員が参加する。 ・みまもり、包括にて同行訪問することでサービスの選択肢が広げられる。 		
②	地域のネットワークを生かし、地域住民による活動の場やグループを継続して創出していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターを中心に、自主グループ創出に向けた検討を職場内で行う。昨年度までに創出したグループへの継続支援も行う。 		
③	必須研修をはじめ専門職研修、一般研修などへの積極的参加をすすめ、参加した職員による伝達研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修について年間計画に落とし込む。 ・研修開催の募集通知を職場内で回覧し、研修内容を把握の上、職員の自主的参加をすすめる。 		

令和7年度

《年間予算表》 東包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対比
地域包括支援センター			73,492,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			73,492,000	0		0.0%		0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			60,411,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			1,087,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			10,560,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	****	0	0		****	****		0
支払利息支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****	0	0		****	****		0
固定資産取得支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			300,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
積立資産支出			636,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			359,000		0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0		****	0	0		****	****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
支出合計(2)			73,353,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			139,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
前期末支払資金残高			24,311,903										
当期末支払資金残高			24,450,903					0					

《特記事項》

※ ノートパソコン購入：1,000,000円

※

【荒川部門】

《西日暮里地域包括支援センター》

〈令和7年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域ケアシステムの構築に寄与する取り組みを実践する。	・地域連携推進会議等を通じ、地域住民と課題についての情報共有を行いつつどのようなことができるのか検討していく。		
②	みまもり事業の推進に寄与する取り組みを実践する。	・機関誌の配布、サロン等を通じて町会や高齢者クラブとの関係作りを継続していく。		
③	生活支援体制整備事業の推進を図る。	・地域の担い手を発掘し、1ヶ所住民主体の活動の場の立上げを支援していく。		

令和7年度

《年間予算表》 西包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
地域包括支援センター			71,295,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			71,295,000		0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			56,071,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			1,005,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			12,790,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	****	0	0		****	****		0
支払利息支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****	0	0		****	****		0
固定資産取得支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			252,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
積立資産支出			655,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			319,000		0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0	0	****	0	0		****	****		0
その他の活動による支出			180,000	0		0.0%	0	0		0.0%	****		0
支出合計(2)			71,272,000	0		0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			23,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
前期末支払資金残高			25,118,493					0					
当期末支払資金残高			25,141,493					0					

《特記事項》

※

※